

令和6年度とうきょうすくわくプログラム活動報告書

<12月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。

など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる

近隣に3箇所の利用出来る菜園があり

‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容> ジャガイモの栽培、収穫、調理、食育

8月に畑の準備を行い、9月に子ども達と苗の植え付けを行う

定期的に成長過程を観察する

葉っぱが黄色くなったら収穫するよと説明する

12月にジャガイモ掘りを行う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

こどもたちには砂遊びみたいに熊手スコップ、バケツを1人1人持たせ、収穫させた

子ども達は畑の中から何が出てくるのか宝探しみたいな感じだった

収穫したジャガイモは洗い調理して給食、おやつとして食育に活用した



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日常子ども達が食べているフライドポテト、ポテトチップ、ポテトサラダと違うジャガイモの本当の姿を見せることが出来て良かった

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

<11月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。
など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる
近隣に3箇所の利用出来る菜園があり
‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

8月に畑の準備を行い、9月に子ども達とタネをまき、11月の収穫まで追肥、水切り、虫よけなどを行いその成長を観察する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・タネまき、栽培、収穫、調理、食育の一連の流れは子ども達にとって初めての経験でその表情は真剣ですごい集中力でした
- ・収穫した大根は煮物、ステーキ、漬物など給食に活用する
- ・大根の葉は味噌汁、ふりかけに活用する
- ・変形大根に子ども達は興味津々でした



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・大根は抜くのに子ども達の力では無理なので事前に回転させておく必要がある
- ・大根は200本以上収穫したので11月から12月にかけて近隣住民、保護者に配布する
- ・多種多様な形状の大根が見せられてよかった
- ・11月はキャベツ、ブロッコリーの収穫を行った

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

<10月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。

など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる

近隣に3箇所の利用出来る菜園があり

‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を
実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容> イチゴとそら豆の植栽、種植え

- ・そら豆の種植えとイチゴの植栽を子ども達と行う
- ・マルチング、穴あけ、種植え、植栽、水やり、支柱、ネットと一連の作業を子ども達と行う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達には事前に絵本（そら豆くんのベッド）を読み聞かせ興味を持たせる
子ども達は一連の作業中ものすごく真剣な表情でした



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・イチゴの植栽とそら豆の種植えはその位置、深さ、向きなど難しいので保育士が手助けして行う
- ・収穫は5月なので2才児は路地イチゴ収穫のイベントを計画する

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

<9月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。

など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる

近隣に3箇所の利用出来る菜園があり

‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を
実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし
種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容> さつまいもの収穫、調理、食育、知育

- ・畑のジャングル状になったさつまいものツルと葉を全て子ども達と取り除き、収穫する
- ・収穫したさつまいもを調理し給食として活用し、イモスタンプとして楽しむ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・子どもたちはイモスタンプを楽しんでいた
- ・ふかしたイモはおかわりをするほど好評であった
- ・収穫時子ども達は泥だらけを苦にしなかった



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・収穫前のさつまいも畑の姿を見せられたので良かった
- ・イモを抜くのに子ども達には無理なのでスコップで事前に掘り起こす
- ・ツルについているイモを見せられて良かった

令和6年度とうきょうすくわくプログラム活動報告書

<8月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。

など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる

近隣に3箇所の利用出来る菜園があり

‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容> スイカの栽培、収穫、食育、行事

大玉、中玉、小玉、色、種など6種類のスイカを栽培、収穫する。

子ども達と収穫した30個以上のスイカは夏祭りのスイカ割り、おやつの食育として活用する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・スイカ割りの時子ども達の目は輝いていた
- ・スイカを食べる子ども達はびっくりするほど食欲旺盛でした
- ・多種多様なスイカを比較出来て良かった



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・スイカの受粉は時間、天気などにより想定されるので子ども達は出来ず、雄花と雌花の違いを説明する
- ・空中栽培と地違い栽培の違い、つるの長さなどを見せてよかった
- ・8月はトマト、ゴーヤなども収穫する ゴーヤは100本以上取れたので近隣住民、保護者に配布する

令和6年度とうきょうすくわくプログラム活動報告書

<7月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。

など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる

近隣に3箇所の利用出来る菜園があり

‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を
実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容> きゅうりの収穫、調理、食育

- ・畑で大中小様々な形状のきゅうりを子ども達と一緒に収穫。そのイボの感触と匂いを嗅がせた。
- ・サイズ形状の違うきゅうりを並べ比較した。
- ・きゅうりはサラダ、一夜漬けに調理し給食として活用した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・トトロの動画を見せメイちゃんの丸かじりも体験させた。
- ・子ども達は大きなきゅうり、イボなどに興味を示した。
- ・採れたてのきゅうりは感触と香りが違うので良かった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子ども達にきゅうりの花のうしろから赤ちゃんきゅうりが成長する様子を見せる事が出来てよかった。
- ・きゅうりは成長が早く、7月から8月は2～3日おきに5本～10本収穫、100本以上になり食べきれないので、近隣住民、保護者に配布する。
- ・7月～8月にかけてトマト、ナス、ゴーヤを収穫する。ゴーヤは9月迄収穫100本以上採れたので保護者に配布する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容> とうもろこしの収穫、調理、食育

畑に行き成長したとうもろこしのヒゲが茶色になったのを取りよと説明。一人一人収穫をし持ち帰り、子ども達に皮をむかせ、ヒゲを取らせ、調理しおやつとして輪切りにして丸かじりする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達はとうもろこしの皮をむいている姿はとても真剣で何枚もの皮をむく。その集中力にはびっくりした。その匂いを嗅がせたり、ヒゲの感触を体験させ五感を育む。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・日常とうもろこしを丸かじりすることはないので良かった
- ・ヒゲ一本は実一個をつながっていると説明する
- ・とうもろこしの収穫は大人の力が必要な為、保育士が取る
- ・子ども達は食欲旺盛でした